

第65回えいが部「シンドラーのリスト」(1994年)

1939年9月、ドイツ軍によりポーランドが占領され、ポーランドの都市クラクフもドイツ軍の占領下に置かれた。ユダヤ人を激しく蔑視するナチス党政権下のドイツ軍はクラクフ在住のユダヤ人に移住を強制し、彼らをクラクフ・ゲットーの中へ追放していた。

そんな中、ナチス党の党员でもあるドイツ人実業家オスカー・シンドラー（リーアム・ニーソン）が、クラクフの町へやってきた。彼は戦争を利用してひと儲けすることを目論み、潰れた工場を買い取って琺瑯（ホーロー）容器工場を開設。有能なユダヤ人会計士イザック・シュターン（ベン・キングズレー）に工場の経営を任せ、「安価な労働力」としてゲットーのユダヤ人を雇い入れ、また持ち前の社交性でSSの将校に取り入って自らの事業を拡大させていった。

しかしやがて冷酷なSS将校アーモン・ゲート少尉（レイフ・ファインズ）がクラクフ・プワシュフ強制収容所の所長としてクラクフに赴任して来る。ゲートとその部下のSS隊員達は、ゲットーや収容所でユダヤ人を次々と殺戮していく。シュターン初め、シンドラーの工場で働くユダヤ人たちにも危機が迫る中、金儲けにしか関心がなかったシンドラーの心境に変化が生じていく。そして彼はあるリストの作成を決意する。

監督：スティーヴン・スピルバーグ

- ・『激突!』(1971年)
- ・『ジョーズ』(1975年)
- ・『インディ・ジョーンズ』シリーズ
- ・『E.T.』(1982年)
- ・『ジュラシック・パーク』シリーズ
- ・『戦火の馬』(2011年)
- ・『ウエスト・サイド・ストーリー』(2021年)

出演：リーアム・ニーソン

- ・『ミッション』(1986)
- ・『ダークマン』(1990)
- ・『マイケル・コリンズ』(1996)
- ・『レ・ミゼラブル』(1998)
- ・『ギャング・オブ・ニューヨーク』(2002)
- 『ラブ・アクチュアリー』(2003)
- 『ナルニア国物語』シリーズ
- ・『特攻野郎Aチーム THE MOVIE』(2010)
- ・『スノー・ロワイヤル』(2019)

ベン・キングズレー

- ・『ガンジー』(1982)
- ・『バグジー』(1991)
- ・『オリバー・ツイスト』(2005)
- ・『シャッター アイランド』(2009)
- ・『ヒューゴの不思議な発明』(2011)
- ・『アイアンマン 3』(2013)
- ・『シャン・チー/テン・リングスの伝説』(2021)

レイフ・ファインズ

- ・『イングリッシュ・ペイシエント』(1996)
- ・『レッド・ドラゴン』(2002)
- ・『ナイロビの蜂』(2005)
- ・『ハリーポッター』シリーズ
- ・『タイタンの戦い』(2012)
- ・『007』シリーズ
- ・『グランド・ブダペスト・ホテル』(2014)
- ・『キングスマン:ファースト・エージェント』(2021)

エピソード

配給のユニバーサルは、低予算の約 25 億 5300 万円でホロコーストについての 3 時間の白黒映画、というのはリスクが高すぎたので、計画されていた別の映画、『ジュラシック・パーク』を制作するようスピルバーグに頼むことにしました。お金になる夏の映画を先に制作し、そうすればその後で渾身の作品に取りかかれるんじゃないか、とユニバーサル側は申し出たのです。スピルバーグがそれに同意すると、『ジュラシックパーク』が 1993 年 7 月に、『シンドラのリスト』は 1994 年 2 月に立て続けに公開されたのです。

スピルバーグは『シンドラのリスト』を非常に重みのあるものと考え、私利私欲抜きにして作るべきと強く思い、この映画に対する報酬やいかなる利益も永遠に放棄したのです。スピルバーグはそのように自分が個人的に得る利益のことを“賠償金”と呼び、受け取らない代わりにその報酬を"ショア基金"の設立にあてました。それはホロコーストの生存者のことをたたえ、忘れないようにするために設立されたもので、そこには個人の思い出や音声や映像によるインタビューが集められています。

シンドラが自社に必要な社員という証明書を出して救ったユダヤ人は 1,100 人ほどであったのに対し、杉原は日本領事館の領事代理という肩書きによって 2,000 枚以上のビザを発給し、6,000 人以上のユダヤ人の命を救ったことで知られている。